

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公表番号】特表2015-526389(P2015-526389A)

【公表日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-515983(P2015-515983)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/744 (2015.01)

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

A 2 3 L 33/10 (2016.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 R 1/225 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/744 Z N A

C 1 2 N 1/20 A

A 2 3 L 1/30 Z

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 19/10

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 R 1:225

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月26日(2016.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラクトバチルス・ロイテリ(Lactobacillus reuteri) JCM1112のゲノム(配列番号1)に少なくとも95%の同一性を有し、以下の4つの位置：塩基対271 391におけるC、塩基対453 538におけるG、塩基対529 228におけるG、及び塩基対599 338におけるCの少なくとも1つ若しくは2つ若しくは3つ又は全てにおいて、ラクトバチルス・ロイテリ(Lactobacillus reuteri) JCM1112のゲノム(配列番号1)に対して同一のヌクレオチドを保持している乳酸菌株を選択することを含む、骨量減少の予防又は処置に用いるための乳酸菌株を選択するための方法。

【請求項2】

以下の4つの位置：塩基対271 391におけるC、塩基対453 538におけるG、塩基対529 228におけるG、及び塩基対599 338におけるCの少なくとも1つ若しくは2つ若しくは3つ又は全てにおいて、ラクトバチルス・ロイテリ(Lactobacillus reuteri) JCM1112のゲノム(配列番号1)に対し

て同一のヌクレオチドを保持しているラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) を選択することを含む、骨量減少の予防又は処置に用いるための乳酸菌株を選択するための方法。

【請求項 3】

乳酸菌株が、塩基対 271 391 における C から T、塩基対 453 538 における G から A、塩基対 529 228 における G から A、及び塩基対 599 338 における C から T からなる 4 つの変異の群から選択される、ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) JCM1112 のゲノム (配列番号 1) に対する少なくとも 1 つ若しくは 2 つ若しくは 3 つ又は全ての変異を保持していないという条件で、ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) JCM1112 のゲノム (配列番号 1) に少なくとも 95 % の同一性を有する乳酸菌株を選択することを含む、骨量減少の予防又は処置に用いるための乳酸菌株を選択するための方法。

【請求項 4】

骨量減少の予防又は処置に用いるための、請求項 1 から 3 までのいずれか一項に記載の方法にしたがって選択される、乳酸菌株。

【請求項 5】

骨量減少の予防又は処置に用いるための、ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) JCM1112 のゲノム (配列番号 1) に少なくとも 95 % の同一性を有し、以下の 4 つの位置：塩基対 271 391 における C、塩基対 453 538 における G、塩基対 529 228 における G、及び塩基対 599 338 における C の少なくとも 1 つにおいて、ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) JCM1112 のゲノム (配列番号 1) に対して同一のヌクレオチドを保持している乳酸菌株。

【請求項 6】

ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) ATCC PTA 6475 である、請求項 5 に記載の乳酸菌株。

【請求項 7】

請求項 1 から 3 までのいずれか一項に記載の方法にしたがって選択される乳酸菌株を含む組成物。

【請求項 8】

ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) JCM1112 のゲノム (配列番号 1) に少なくとも 95 % の同一性を有し、以下の 4 つの位置：塩基対 271 391 における C、塩基対 453 538 における G、塩基対 529 228 における G、及び塩基対 599 338 における C の少なくとも 1 つにおいて、ラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) JCM1112 のゲノム (配列番号 1) に対して同一のヌクレオチドを保持している乳酸菌株を含む組成物。

【請求項 9】

乳酸菌株がラクトバチルス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*) ATCC PTA 6475 である、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

骨量減少の予防又は処置に用いるための、請求項 7 から 9 までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

閉経期の女性、子宮摘出を受けた女性、糖尿病患者、骨減少性の個体、骨粗鬆症の個体、及び代謝障害を有する個体における骨量減少の予防に用いるための、請求項 7 から 9 までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

骨折後の骨修復の改善に用いるための、請求項 7 から 9 までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

骨量減少の予防又は処置に用いるための、ビタミン D 又はホルモンと組み合わせられた、請求項 7 から 9 までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

組成物が、医薬組成物、食品製品、又は食品サプリメントである、請求項 7 から 13 までのいずれか一項に記載の組成物。